

令和6年度（2024年度）

京都市立芸術大学大学院 美術研究科 博士（後期）課程 入学試験問題

[語学試験]

英語

- 解答は全て解答用紙に書くこと。この問題用紙は試験終了後回収します。

A. 次の文章を読み、[問題1, 2]に解答しなさい。[35点]

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

[出典 “The surprising—and deadly—history of wallpaper” by Nell Card, CNN. (<https://edition.cnn.com/style/wallpaper-history-deadly-design/index.html>) January 22, 2024.]

[問題1] 下線部(1)～(3)の単語について、最も近い意味の単語を各々選択肢から選んで記号で答えなさい。

- (1) { (A) liking (B) limit (C) right (D) rival }
- (2) { (A) high-grade (B) long-lasting (C) low-density (D) short-lived }
- (3) { (A) continued (B) rejected (C) started (D) wanted }

[問題2] 下線部(4), (5)の各々が表す内容を日本語で説明しなさい。

B. 以下に挙げる、日本人の大学院生 Yuki と留学生 Kim の対話について、下線部(1)~(4)を英語に訳しなさい。[30 点]

Yuki: (1)また京都でお会いできて嬉しいです。もう一度日本に来たいと思われたのですね。

Kim: はい、前は予定していたことのうち僅かしかできませんでしたから。

Yuki: あの頃はコロナ禍で大変な時期でしたからね。

Kim: (2)伝統工芸に取り組む作家を訪ねて日本中をまわる計画をしていたのです。でもそれがかなわなくて、どうすればよいか本当に悩みました。

Yuki: 今度は是非実現してください。(3)オンラインでのインタビューを含めることもできるでしょうね。

Kim: そうですね、でもオンラインの情報に全て頼るつもりではありません。だからこそもう一度日本に来たのです。(4)さまざまな工房を直接訪れて、自分の肌で雰囲気を感じ取りたいと思っています。

C. 次の文章を読み、下線部(1), (2)の各々が表す内容を日本語で説明しなさい。ただし(1)では、this 40 percent の具体的な内容を本文中から補って説明に含めること。[35 点]

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

[出典 “To save museums, we need to treat them like highways” by Laura Raicovich and Laura Hanna, *The New York Times (International Edition)*, February 15, 2024.]